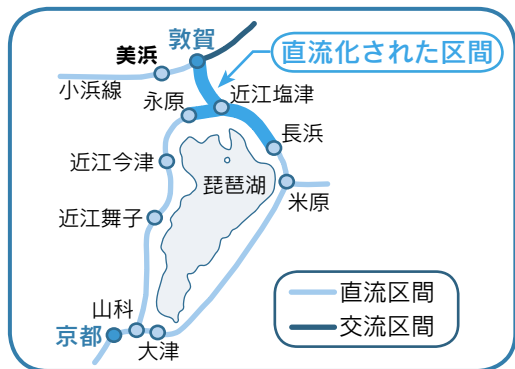


JR北陸線・湖西線直流化開業

京阪神と直結する新快速電車が敦賀駅に乗り入れ開始



1番列車が到着した敦賀駅ホームの様子



10月21日、JR北陸線と湖西線の直流化に伴い、JR敦賀駅と京阪神を乗り換えなしで結ぶ新快速電車の運行が開始されました。

新快速電車が到着する敦賀駅のホームでは、京阪神からの大勢の乗客を乗せた1番列車の到着にあわせて到着式が行われました。

また、直流化を記念して敦賀駅周辺では、さまざまなイベントが開催され、多くの人で賑わいました。

直流化記念絵画コンクールで 敦賀駅長賞を受賞！

到着式に引き続き、プラザ萬象で「敦賀・関西 新快速直通化開業記念大会」が開かれました。

式典では、西川知事が「今回の直流化で、関西圏と嶺南地域が1つのネットワークで結ばれ、交流人口を拡大する絶好の機会である」とあいさつされ、約600人の参加者と新たな出発を祝いました。

また、開業を記念した絵画コンクールで、下本裕太さん(弥美小学校3年)が敦賀駅長賞を受賞され、壇上で表彰を受けられました。



敦賀駅長賞を受賞された下本裕太さん

敦賀駅の乗降客を美浜に誘客

町の小浜線利用促進協議会では、新快速電車の乗り入れなどにより、乗降客の増加が見込まれる敦賀駅の各ホームや周辺に本町への誘客を目的とした観光看板を設置しています。

各所に設置された大きな看板には、三方五湖やへしこなどの紹介とあわせて、「美浜町へは敦賀駅より小浜線に乗り換えて約20分」と町へのアクセスが記載されており、小浜線の利用促進とあわせて、町への誘客効果が期待されます。



敦賀駅ホームに設置された観光看板

直流化開業日にあわせて、三方五湖を巡る周遊バス「ラムサール号」の出発式が敦賀駅前で行われ、山口町長や飯島副知事らによるテープカットの後、第1便が出発しました。

ラムサール号は、土・日・祝日に1日1便、午前10時45分に敦賀駅前を出発し、レインボーラインや三方五湖遊覧船、縄文博物館などの三方五湖を周遊するコースを運行します。

乗車料金は、昼食代や各施設の料金などを含めて大人3,980円（小学生以下は2,980円）となっています。

※お問い合わせ先

レインボー観光(株) ☎45-0251

直流化にあわせて周遊バス

「ラムサール号」が出発！



出発式でテープカットを行う山口町長(右から2人目)と辻議長(右端)

直流化を記念して 「三方五湖ラムサール・ぐるっとサイクリング」



久々子湖を経由し、日向湖の湖岸道路を快走



町総合体育館を出発する大勢の参加者

直流化を機に、より身近になった嶺南地域を県外の方にPRするため、新快速直通化開業記念事業実行委員会によるサイクリングイベント「三方五湖ラムサール・ぐるっとサイクリング」が10月29日に開催されました。

県内外から集まった約400人の参加者は、町総合体育館を発着点に三方五湖全域を周遊するコース(約33km)を自転車で走り、さわやかな秋風を受けながら三方五湖の美しい景観を楽しんでいました。

便利でお得な1日乗り放題 びわこ・敦賀・小浜フリーきっぷ

【 JR自由周遊区間 】

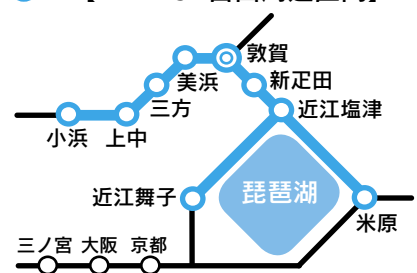
JR西日本では、直流化開通記念として、小浜線・湖西線・北陸線(小浜～米原間・小浜～近江舞子間)の自由周遊区間が1日乗り放題のフリーきっぷを販売しています。

また、フリーきっぷを利用される方には、小浜線沿線市町で観光施設の割引、プレゼントなどたくさんの特典があります。



- 販売価格 大人1,000円(子ども半額)
- 利用期間 12月29日(金)まで
- 発売期間 利用日の1か月前から当日まで
- 販売場所 美浜駅・敦賀駅などのみどりの窓口

※お問い合わせ先 JR美浜駅 ☎32-0010



美浜発電所の状況



今回の報告では、10月16日から11月15日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

美浜1号機

第22回定期検査中

(平成18年11月1日)

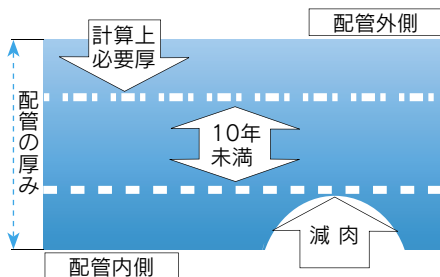
今回の定期検査では、発電所設備全般にわたる点検が行われるとともに、3号機事故を踏まえ2次系配管で1,032箇所肉厚測定と76箇所の配管取替え工事を行っています。

また、国内外の加圧水型原子炉でニッケル基合金(インコネル600)を使った原子炉容器と配管等をつなぐ溶接部で応力腐食割れ(※1)が発生していることから、この現象を未然に防ぐための予防保全工事が行われます。

高経年プラントの肉厚管理の考え方(平成16年11月)

- ・ 計算上必要厚さになるまでの余裕期間が10年未満になれば毎定期検査時に点検
- ・ 点検済みの箇所も今後の3回の定期検査時に再測定を実施
- ・ 未点検箇所は、今後2回の定期検査で全数を点検する

減肉傾向が認められる箇所は、計画的にステンレスなど、腐食に強い材料などに取り替える



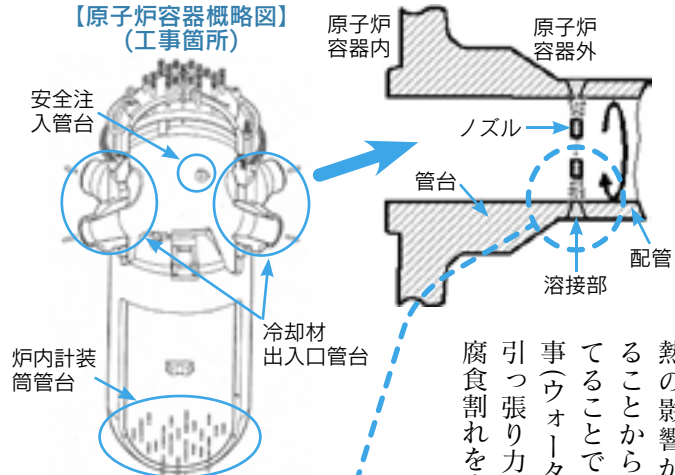
※1 物体に加えられる力を応力(ストレス)といい、引っ張りの応力・圧縮の応力・ねじりの応力に分類される。この力が残ることによって加速される腐食を総称して「応力腐食割れ」といいます。

応力腐食に影響するのは、引っ張り応力であって圧縮応力では腐食は加速されません。

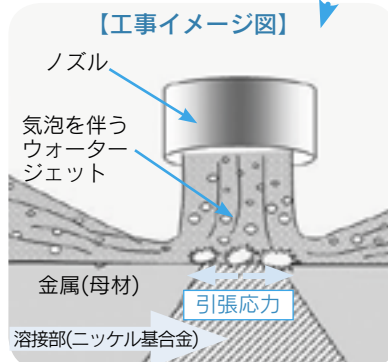
応力腐食割れに係る予防保全工事

本工事は、ニッケル基合金(インコネル600)を使った溶接部表面に、溶接時の熱の影響が引っ張り応力として残っていることから、溶接部表面に高圧の水流を当てることで、これを圧縮の応力に変える工事(ウォータージェットピーニング)です。引っ張り力を圧縮力に変えることで、応力腐食割れを未然に防ぐことができます。

【原子炉容器概略図】(工事箇所)



【工事イメージ図】



美浜2号機

定格熱出力一定運転中

(平成18年6月22日)

い運転状態での点検が行われるとともに、10月3日の原子炉停止後、10月19日にまでに停止後の点検が行われ、プラント設備全体の健全性が確認されました。

現在は、今後の本格運転再開に向けて、機器・系統に必要な措置が講じられて保管状態にあります。

美浜3号機

第21回定期検査中

(平成16年8月14日)

3号機では、9月21日に原子炉を起動し、9月26日から試験運転を行

また、本格運転の再開は、1号機の定期検査や他の発電所の定期検査の工程等を考慮するとともに関係者との間で、平成19年1月中旬を目途として準備が進められています。



交流推進室だより

今年の体験受け入れを終えて

去る10月31日に、平成18年はあとふる体験の受け入れがほぼ終了しました。

4月から本格的な受け入れを開始し、県内外の学校や個人、団体など約2,000人の方が美浜町を訪れました。初めての受け入れに各団体では、どうしたら良い体験になるかと思考錯誤していただきました。その甲斐があり、多くの方が美浜町を訪れ、海・山・川・湖・田とさまざまな場所での体験、また民宿や旅館に宿泊し、数々の思い出を作っていただくことができました。



▼初めての体験

その中でも、町のスポーツである「ボート体験」と丹生地区や日向地区で行われた「漁業体験」を

数多くの方に体験していただきました。

「ボート体験」では、強風や雨などで天候に恵まれなかった学校もありましたが、インストラクターの指導に従い、一所懸命に小さな体でオールを漕ぐ小学生の姿、自分達で励ましあつてのレースに挑む姿が印象的であり、学校や家庭に戻ってもその気持ちを忘れずにいてほしいと感じました。

また、レース終了後、インストラクターと勝利を分かち合い楽しく話し合う姿があり、世代や地域を越えた交流ができ、お互いに有意義な時間を過ごすことができました。

漁業体験では、普段自分たちの身近にない海を前にし、手で魚を触るのが気持ち悪いといった様子の子どもも見られましたが、インストラクターに手取り足取り教えてもらい全員が魚を捌けるようになりました。

また、宿泊では、多くの子ども達が民宿が初めてなので最初は不安だったという声を聞きましたが、自分たちの食事の準備や後片付け、布団の整理などの行動の中で宿の人との会話やそれぞれの宿で工夫

したもてなしをしていただいたので「また家族や友人と来たい」とや「おじいちゃんの家みたい」という声がたくさん聞かれました。また、一人の先生からは「自分の田舎を思い出し、心が落ち着く」といった声も聞かれました。



▼体験をとおして

何より良かった点として、食料生産地と消費者が離れて行く時代の中で、美浜のありのままの暮らしや生産者の喜びや苦勞、また旬の物やとりたての新鮮な物を美味しく工夫した色々な食べ方があることを知ってもらい、自分たちの命の源である食が、いかに大事かということを通してでも理解して帰っていただけたことが挙げられます。

▼はあとふる体験の可能性

今、厳しい状況にある農林水産業も体験内容の対応次第では大いに集客の可能性を持つており、交流人口の拡大や経済効果に貢献することとなります。何より一次産業の深い理解につながり、販売の拡大や地域、郷土、国産品の良さが再確認され、産地が誇りや自信を持つようになることを願います。

▼新たな交流・体験にむけて

最後に平成18年の受け入れの際、多くの団体また個人の方に先頭に立っていただき、東奔西走していただいたことを感謝しています。おかげで事故もなく無事に終了できました。

平成19年についても、すでに予約が入ってきています。更なる向上のために今年の反省点を踏まえ、地域一丸となり訪れる人々が交流を深められる場として、再度、美浜町に行きたいと感じてもらえるような地域を目指していきたいと考えています。

※お問い合わせ先

町商工観光課 交流推進室

若狭美浜はあとふる体験

推進協議会事務局

☎ 32-6705